

### 特色③

## 自分ごととして追究する「マイめあて」

横浜国立大学 教授  
堀内かおる（ほりうち かおる）



### 1. 課題設定は難しい？

家庭科の学習を始めるにあたり、子どもたちが学習内容を「自分ごと」としてとらえ、自分の課題を見つけることができるようにしましょう。新教科書では自分で追究する課題のことを、「マイめあて」と位置づけ、題材の初めの導入のところで、子どもたちが考えて記入することができるようにしています。しかし、「課題を見つける」というのは、実は結構、難しいことなのです。なぜなら、課題発見の前提として、自分や家族の生活をよく見て、そこで新たな気づきや疑問が生まれることが必要だからです。自分にとっての「当たり前」だと思っていたことがそうではない、と思えるような、心が揺さぶられる経験がなければ、自分にとっての課題が具体化して立ち現れることはありません。

### 2. 「マイめあて」が子どもの心に湧き上がるために必要なこと

家庭科の授業を始めるにあたり、まず、子どもたちが自分たちの生活を見つめ直すきっかけを与えましょう。毎日の生活はどんな人たちのどのような働きがあって、成り立っているのだろうか、という問いが生まれるような、授業の導入が望ま

れます。おのずと子どもたちの心に問いが生まれるような、授業の入り方が重要となります。



教科書p.34 「できるよ家庭の仕事」

例えば、「家庭の仕事」の学習で、教科書の題材扉の写真には、二つの家族が登場します。この写真をじっくり見てみると、どんなことに気づきますか？ 写真の子どもたちは、どんな思いでそれぞれの「仕事」に取り組んでいるのでしょうか。我が家との違いはどこだろう。共通していることはあるかな、という問いかけを通して、子どもたちは自分の家庭の様子を思い出し、考えようとする視点が醸成されていきます。

「マイめあて」は、そのような子どもたちの気づきを言葉にしていくことで、設定が可能となるのです。

#### 【参考資料】

ジェンダー視点による小学校家庭科「家庭の仕事」の授業分析  
小笠原 由紀（横浜国立大学教育学部附属横浜小学校）  
堀内 かおる（横浜国立大学教育学部）



非売品

令和5年5月8日発行 編集兼発行人 岩塚 太郎  
発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1  
☎03(5684)6121(営業),6118(販売),6116(編集) <https://www.kairyudo.co.jp/>

## KGK JOURNAL 特別号

**開隆堂出版株式会社**  
〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社 札幌市中央区大通西11-4-21 52山京ビル7階 ☎011(231)0403  
東北支社 仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階 ☎022(742)1213  
名古屋支社 名古屋市栄区葵1-15-18 オフィスサンナゴヤ9階 ☎052(908)5190  
大阪支社 大阪市西区新町2-10-16 ☎06(6531)5782  
九州支社 福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 ☎092(733)0174

# KGK

# JOURNAL

2023

小学校家庭科  
特別号

## 内容解説資料

令和6年度  
小学校家庭科教科書

## 新教科書特集号

令和6年度



## CONTENTS

- 特色① 学習を定着させる スモールステップ ..... 2  
東京学芸大学 名誉教授 鳴海 多恵子
- 特色② 安心して学習するための 安全・衛生指導のポイント ..... 3  
千葉大学 名誉教授 石井 克枝
- 特色③ 自分ごととして追究する「マイめあて」 ..... 4  
横浜国立大学 教授 堀内かおる

**開隆堂**

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って  
令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、配布を許可された資料です。

# 特色①

## 学習を定着させる スモールステップ

東京学芸大学 名誉教授  
鳴海 多恵子 (なるみ たえこ)



### 1. 家庭科学習の喜びとつまずき

子どもたちは「家庭科」が大好きです。調理実習で料理を作り食べることや、布を使ってもの作りをする楽しさはもちろんのこと、今までは大人がしてくれること、と他人ごとだった家庭の仕事に自分も参加できるようになっていくことに新鮮な喜びを感じるのです。

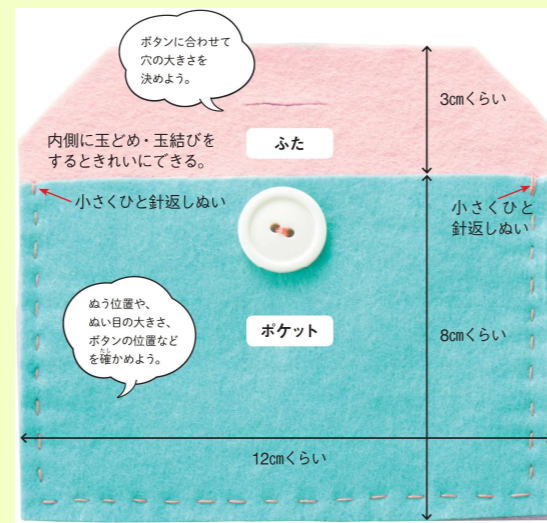
一方、家庭科の学習ではじめて生活技術を体験する子どもたちには、思い描いていたような目標達成は容易なことではありません。活動が思うように進められないことに挫折感を感じて、意欲の維持が困難になり、時には家庭科が嫌いになってしまうこともあります。

### 2. スモールステップを取り入れた教科書

開隆堂の教科書は、子どもたちの家庭科への意欲・関心を喚起、持続させ、知識・技能の確実な習得がはかれるよう、スモールステップの考え方を大切にしています。



具体的には、題材配列を5年生では基礎的な内容を段階的に配置し、6年生では、5年生の学習を発展的に繰り返して確実な習得をはかり、生活に活用する工夫について考える内容を配置しています。



教科書p.25 「フェルトで作るカード入れ」

教科書の誌面では実物大で掲載しています。作品と照らし合わせることで作り方を理解しやすくし、子どもたち自身の力で作業が進められるよう、工夫しています。

学習目標を段階ごとに、少しずつ習得できるようにするスモールステップは、子どもたちが達成感や自己肯定感を得やすく、次のステップへの意欲を高めます。また、教師にとってもつまずきを把握しやすく、指導のポイントを明確にすることができます。

子どもたちにとって学びやすく、教師にとっても授業がしやすい教科書であると確信しています。

# 特色②

## 安心して学習するための 安全・衛生指導のポイント

千葉大学 名誉教授  
石井 克枝 (いしい かつえ)



### 1. 楽しい実習にするために

子どもたちは家庭科に何を求めているでしょうか。家庭科では、はじめてチャレンジできることに喜びがあります。しかも生活の中でできることは、いつでも実感できることです。子どもたちが期待している実習を安全に行うことは指導者にとって、もっとも気を遣うことです。教科書では、指導者にも子どもたちにも安全・衛生のポイントがわかりやすい頁を設定しています。

### 2. いつ、どういうことに気をつけるか

調理実習・製作実習では、実習の前、実習中、実習の終わりに分けて注意点を示しています。さらに、どうしてそうしなければいけないのかを理解できるように、Q&Aで解説しています。これは学校での実習だけでなく家で実践するときにも大事なポイントです。

製作実習では道具の扱い方も示しています。



子どもたちは5年生で家庭科が始まる時、裁縫箱を持つことでワクワクしています。針と糸、はさみ、ミシン、アイロンと、必ずしも家庭では見たことがない道具に出会い、期待と不安があります。道具の特徴がわかると、使い方の心構えができると思います。保護者の方にもこの頁を見て日々の生活にいかしてほしいと思います。

### 3. 学校での実習は子どもたちの学び合う場

学校での実習は、家庭では得られない子ども同士の学び合いがあります。1回でできなくても改善点に気がつくチャレンジしたくなり主体的に学ぶようになります。手を動かし、できる喜びと、知識を得ながら、思考を深めていきます。実習を通して多くの学びが得られることを願っています。

